

令和5年度第1回アドバイザーボード 議事概要

1 日 時 令和5年10月13日（金）10：00～12：00

2 場 所 ホテルルポール麹町 （東京都千代田区平河町2丁目4－3）

3 議 事

- （1）開会
- （2）挨拶（理事長）
- （3）アドバイザー自己紹介
- （4）F-REI の取組紹介
- （5）意見交換
- （6）閉会

4 出席者

（1）アドバイザー

石村 和彦	国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）理事長
永田 恭介	筑波大学長
原山 優子	東北大学名誉教授
山名 元	原子力損害賠償・廃炉等支援機構（NDF）理事長【オンライン参加】

（2）F-REI

山崎理事長、理事、監事、執行役、分野長、副分野長 ほか

5 議事要旨

・F-REI の取組等について、F-REI から説明を行った後、各アドバイザーとの意見交換を実施した。

（アドバイザーの主な意見）

- 長期間、大規模な研究テーマで、世界から優秀な研究者に参画してもらう必要がある。また最初から企業を巻き込み、社会実装を見据えた申請をさせる仕組みが重要。
- F-REI には、浪江町で本気で研究する研究者が必要。委託研究の公募の段階においても、F-REI への参画の意識付けを行うべき。
- テニユアトラックも流動性の観点から必要だが、浜通り地域に若い研究者を呼び込むため、パーマネント（雇用期間の定めのない）なポジションを作って求心力を作るような考え方も必要。
- F-REI において一直線で目指すものを明確にし、世界に冠たる研究結果をとにかく出さないといけない。